

※※※※※

動労千葉は、三月十四日に県教育会館において、第八回定期委員会を開催します。
3・25五割動員を実現し、内達―動乗勤改悪をはじめとする国鉄労働運動解体攻撃に反撃していくための総決起の場として、圧倒的成功をかちとろうではありませんか。

※※※※※

エスカレートする軍事大国化・改憲攻撃

中曽根の戦後政治の総決算をかけた軍事大国化・改憲路線は、いよいよ露骨に強権的に打ち出されています。

第二次中曽根内閣の陣容を見れば明らかなように、反動攻勢の基軸を三里塚闘争の圧殺―二期着工にすえきりました。

さらに、中曽根は、二月六日の施政方針演説で、行政改革―国鉄労働運動破壊、財政改革―大増税・赤字国債の発行、教育改革―教育臨調設置をうちだし、これテコに体制的危機からの脱出をかけた軍事大国化・改憲攻撃をエスカレートさせようとしています。

これに対して社会党は、昨年十二月の総選挙の結果にしがみつき、「自衛隊の違憲合法論」をうちだし、結果として中曽根の反動攻撃を尻押しする役割を果たしています。

また、総評は84春闘を「春闘再構築の第一歩」と位置付け、「四月上旬官民集中決戦で闘う」と決めていながら、同盟・JC・全労協の「官公労の違法ストが全体の足を引っ張る恐れがある」との恫喝に屈し、二月の臨時大会では「四月上旬」に修正し、早くもストなし策動に屈してしまっています。

とりわけ、六五年度二五万人体制を公然化させ、職場規律による労働運動の圧殺、動乗勤改悪―「60・3」を策す国鉄当局の攻撃は、国労指導部

の屈服に助けられ、動労「本部」革マルを先兵とすることで一挙に強行されようとしています。

3・25の爆発で反動を突き破ろう

労働運動が雪崩をうって総屈服を深めている状況のもとで、これを突き破る闘いがいま求められています。

動労千葉は、81・3ジェット闘争の地平のうえに昨年の第八回定期大会において、「三里塚―国鉄を基軸に反動中曽根と対決する」方針を確立しました。

そして、軍大化攻撃の一大エスカレートである11・9レーガン来日に対し、社共・総評の闘争放棄をのりこえ、現地闘争に決起するとともに、三万人の削減という59・2大合理化をはじめとする国鉄労働運動破壊攻撃に対し、動労「本部」革マルの裏切りを弾劾しつつ、当局の攻撃に歯止めをかける闘いを意気軒昂と闘いぬいてきました。

この路線こそが、唯一勝利の展望をもった路線であり、今日の労働運動に求められる核心があります。

八四春闘大巾賃上げ獲得、動乗勤をはじめとする国鉄労働運動破壊攻撃粉碎の闘いを、中曽根の軍事大国化・改憲攻撃との闘いと結合して闘い、勝利するために、3・25三里塚への五割動員実現をその突破口としようではありませんか。

第八回定期委員会を総決起の場にするために、全組合員の圧倒的傍聴を訴えます。

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

3・14定期委に結集しよう

退職者の皆さんの送別会 132名で盛大に開かる！

三月一日幕張支部は、勇退者送別会を、千葉駅ステーションビル大ホールで、一三二名の出席の中で盛大に行った。永い厳しい国鉄生活を立派に勤めあげ、動労千葉の組織の中心を担われてきた諸先輩に対し、全参加者が心から敬意と労をねぎらい、先輩が築きあ

げて職場と団結を必ず守り発展させることを誓った。白井支部長の最後の団結ガンバローは、ホールがわれんばかりの力強いものとなり、3・25根こそぎ動員、春闘へと全力をつくすことを確認し、大成功のうちに閉じた。

「幕張支部通信員・発」

